

平成29年度 上半期収支状況

一般会計、特別会計などの平成29年度上半期（4～9月）分の収支状況は次のとおりです。

平成29年9月30日現在					
区分	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	317億5,000万円	34億4,042万8千円	351億9,042万8千円	80億4,673万8千円	83億2,629万8千円
国民健康保険特別会計	27億8,500万円	1億143万5千円	28億8,643万5千円	10億9,874万8千円	10億2,759万円
後期高齢者医療特別会計	1億3,660万円	573万3千円	1億4,233万3千円	4,312万6千円	2,879万5千円
介護保険特別会計	16億5,000万円	1億3,166万6千円	17億8,166万6千円	8億7,846万8千円	6億2,060万8千円
市場事業特別会計	3,340万円	0円	3,340万円	1,994万9千円	1,683万1千円
漁業集落排水事業特別会計	3,500万円	3,900万円	7,400万円	2,006万1千円	642万円
公共下水道事業特別会計	2億8,200万円	747万8千円	2億8,947万8千円	1億5,901万6千円	5,939万9千円

企業会計区分			予算現額	収支済額
水道事業会計	収益的	収入	6億2,879万7千円	1億8,983万6千円
		支出	6億2,411万3千円	7,232万円
	資本的	収入	16億5,328万7千円	1,151万1千円
		支出	18億7,395万4千円	3億971万6千円
病院事業会計	収益的	収入	21億1,246万7千円	9億4,927万7千円
		支出	21億1,246万7千円	10億3,271万6千円
	資本的	収入	3,886万7千円	2,340万8千円
		支出	3,886万7千円	1,667万4千円
訪問看護ステーション事業会計	収益的	収入	4,801万円	2,135万円
		支出	4,801万円	2,073万3千円

【水道事業】

上半期の給水収益は、予算執行率52%で震災前と比較し92%と緩やかではありますが回復傾向にあります。
また、町独自支援として前年度に引き続き給水装置設置費の補助を行っていますが、前年比45%、223万円の支出となっています。
工事請負費は、繰越工事を含めた予算総額14億7,000万円に対し2億1,000万円、14%の執行に留まっていますが、下期において配水管布設や既設管撤去などの工事の発注が予定されています。

【病院事業・訪問看護事業】

本年度の病院事業は、入院病床90床、外来診療科10科および透析診療などにより業務を行っています。
患者数の状況は、9月末現在で前年同月と比較すると外来患者数は974人の増、入院患者数は2,639人の増となっています。病床稼働率が前年より増加しているものの、経費などの医業費用も増加していることから、今後も医業収益の増に向け経営努力を行っていきます。
訪問看護事業においては、利用者数、収支ともに前年度より減少の傾向にあることから、今後の事業の安定化に向け利用者確保に努めます。

平成28年度
訪問看護ステーション事業会計

平成28年度は、入院治療などの必要が生じた利用者の南三陸病院での支援体制が整ったことなどにより、利用者が減少しており、年間延べ訪問回数が6,924回、実利用者数が931人となっています。収支では、事業収益が4,578万7千円、事業費用が4,299万9千円となり差引278万8千円の純利益が生じました。これにより、年度末の利益剰余金は1,544万1千円となりました。

▶訪問看護ステーション業務状況

年間実利用者数	931人
延べ訪問回数	6,924回
1人あたり月平均利用回数	7.4回

▶訪問看護ステーション決算状況

区分	項目	決算額
事業収益	事業収益	4,529万6千円
	事業外収益	48万8千円
	特別利益	3千円
	合計	4,578万7千円
事業費用	事業費用	4,299万9千円
	事業外費用	0円
	特別損失	0円
	合計	4,299万9千円
純利益		278万8千円

▶患者の地域別割合

志津川地区	歌津地区	その他
85.9%	13.9%	0.2%

▶利益剰余金

利益積立金	186万9千円
繰越利益剰余金	1,357万2千円
資本合計	1,544万1千円

平成28年度
病院事業会計決算

平成28年度は、新病院の業務が本格化し、医療提供体制の充実とともに住民サービスの向上を目標に事業を展開しました。入院患者数は28,139人で119.7%の増、外来患者数は48,760人で11.3%の増となっています。収益的収支（経営の会計）においては、病院事業収益は、17億4,451万1千円、病院事業費用は20億1,907万6千円で2億7,456万5千円の純損失が生じました。資本的収支（施設整備の会計）においては、出資金4,064万4千円を財源に企業債の償還に充てました。また、地域医療復興補助金1億9,136万円や繰越工事資金などを医師官舎建設工事および医療機器整備などの建設改良費に充てました。

▶業務状況

区分	総数	1日平均
入院患者数	28,139人	77.1人
外来患者数	48,760人	200.7人
休日・夜間の救急患者数	1,131人	3.1人

▶収益的収入および支出（経営の会計）

区分	項目	決算額
事業収益	医業収益	11億3,921万9千円
	医業外収益	6億436万5千円
	特別利益	92万7千円
	合計	17億4,451万1千円
事業費用	医業費用	19億1,724万4千円
	医業外費用	9,481万6千円
	特別損失	701万6千円
	合計	20億1,907万6千円
純損失		2億7,456万5千円

▶資本的収入および支出（施設・設備整備の会計）

区分	項目	決算額
収入	出資金	4,064万4千円
	補助金	1億9,136万円
	基金積立金利息	1千円
	合計	2億3,200万5千円
支出	建設改良費	2億2,353万5千円
	企業債償還金	1億4,066万8千円
	基金積立金	1千円
	合計	3億6,420万4千円

▶内部留保（流動資産-流動負債）などの状況

	平成28年度末
内部留保	2億4,646万8千円